

特認校

富沢小と家庭・地域をつなぐ学校だより

学校教育目標

夢をもち未来を拓く子ども

【目指す児童の姿】

かしこい子（知）

あかるい子（徳）

ねばりつよい子（徳）

たくましい子（体）

【実践の合い言葉】

きたえ ふれあう 富沢っ子



みらい

旭川市立富沢小学校 No. 2 平成27年 6月5日発行

ご声援ありがとうございました

校長 禎島清幸

過日は、地域の方々保護者の方々の絶大なお声援を受け、特認30周年記念大運動会が挙行できましたこと心より感謝申し上げます。児童は、この行事を通し、勝っておごらず負けてくさらず、あきらめない心や力を合わせることの大切さに気づき大きな成長を果たしました。また、3年生からの実行委員会活動では、運動会を支える活動もこなし、大きな自信となったと思います。今年の運動会は、天候により体育館とグラウンドを使用し、悪条件にも負けず力を尽くした児童の姿は、深く思い出に残るものとなりました。これもひとえに、地域の方々・保護者の方々のご理解とご協力の賜物と存じます。大変ありがとうございました。この成果を、今後の教育活動に生かしてまいります。

☆「消しゴムやエンピツは、使うと減ってしまいます。しかし、使えば使うほど増える物があります。」と、朝会で、クイズを出しました。しばらくたち、子どもたちから答えが返ってきました。「笑顔です。」「挨拶です。」「優しい気持ちです」

自分が「**笑顔**」になると、相手も幸せな気分になり自然と笑顔が増えていく。
自分が積極的に「**挨拶**」すると、明るい挨拶が返ってきて挨拶が増えていく。
自分が「**優しい気持ち**」で人に接すると、相手も優しい気持ちになり優しさが増えていく。
答えは、限りなくあります。自分が前向きに行動することにより、相手の行動や気持ちが変わり、学校全体がよりよい方向に進んでいくことを強く願っています。大事なのは、自分から始めるという、気持ちと行動力だと思います。

☆先日、卒業生が来ました。札幌在住の方で、特認20周年の卒業生だそうです。体育館に掲示している卒業記念制作を懐かしそうに写真に収めながら、小学校時代の思い出を話していました。「体育館に宿泊した合宿」「富沢タイムの体力作り」「飼育していたリス」等々、小学校の思い出が鮮明にみえがえっていました。富沢小学校に感謝すると共に在校生の皆様の頑張りを応援しますとのことでした。

6月の行事予定

生活目標

保健目標

給食目標

時間を守ろう！
歯を大切にしよう！
よくかんで食べよう！

日	曜	おもな行事	日	曜	おもな行事
4	木	体力テスト（全）クラブ	17	水	プレマラソン記録会 研修日
5	金	歯科検診 歯磨き指導 職員会議	19	金	マラソン記録会
8	月	体力テスト（中・高学年）	22	月	夏の野山オリエンテーション
9	火	朝会 いこいの家（2年）	23	火	いこいの家（1年） 諸費引落日
10	水	児童会 職員会議（※体力テスト予備）			（※マラソン予備日）
11	木	修学旅行（6年）	24	水	どんぐり作戦
12	金	修学旅行（6年） PTA給食試食会	25	木	小学校体育大会 心電図検査1年
15	月	朝会	26	金	研修日（※体育大会予備日）
16	火	ふれあい給食（1・5・6年）クラブ ALT	29	月	教育相談週間（～3日） 児童会
			30	火	朝会

豊かな自然を体で感じた「春の野山」

富沢の自然探索

自ら課題を見つけ、自ら学び、学んだことをよりよい方法で表現することを大きな目標として、恒例の「春の野山」を5月11日実施しました。今年は、事前の学習に力を入れ、学習のねらいや個人の課題ををしっかり持たせることを大切にしました。当日の活動では、講師の方の専門的かつわかりやすい説明を受け、自らの疑問や課題解決のため積極的な質問や感想発表が見られました。次は、「夏の野山」です。

花


川

鳥

ふれあい集会・田植え

5月18日の「ふれあい集会」では、ふれあい家族の皆様と低学年は「昔の遊び」で交流したり、中学年は「作物の植え育て方」、高学年には「富沢の歴史」についてお話していただいたりするなど、大変短い時間ではありましたが交流活動を行うことができました。子どもたちは楽しく遊んだり、お話に真剣に耳を傾けたりと、交流を喜んでいました。

「田植え」でも、1年生を中心に苗の植え方を懇切丁寧にご指導いただき、大変貴重な体験をすることができました。今後、子どもたちは秋の収穫を心待ちにし、稲の成長を大事に見守っていくと思います。保護者の皆様のご参加ありがとうございました。



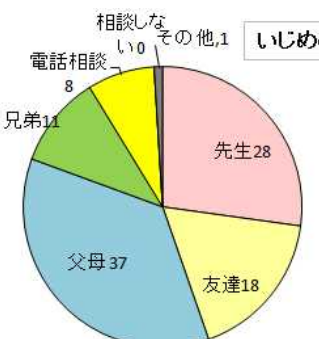
いじめアンケート結果より

全校児童を対象に今年度1回目の「いじめアンケート」を実施しました。いじめと認知できるような事例はありませんでしたが、低学年では些細なことで友達をたたいてしまうような姿を何度か見かけています。単なるケンカとして安心することなく、「人をたたく」という行為の善悪についても考えさせ、いじめに発展しないように学級指導を充実して参りたいと思います。

いじめを防ぐためには、小さな芽を摘み取ることが特に大切なことです。全教職員が「いじめは、いつ起こるかわからない」という危機意識を高め、子ども一人一人をよく観察し、ちょっとした変化も見逃さないという心がけを大切にしながらいじめの未然防止に努めて参りたいと思います。

ご家庭におかれましても、お子様のことで、「何か変だな？おかしいな？」と思うことがございましたら、学校（担任）までお知らせくださいますようお願いいたします。

いじめの相談相手



先生	28
友達	18
父母	37
兄弟	11
電話相談	8
相談しない	10
その他	1

次号では「特認30周年記念大運動会」について特集します。